

女性通信員のページ

おりーぶ通信

畑はウコッケイの運動場

普通寺 下吉田町の森岡光夫さんは大の動物好き、毎日畑から無農薬の野菜などを収穫し、ウコッケイに与えています。

自宅前の畑で一昨年(2006年)に40羽のウコ



ッケイとウサギ2羽を放し飼いにしたのが始まりで、今ではウコッケイが150羽に増え、畑はさながらウコッケイの運動場。畑の中に小屋3つを作り、自由に出入りできるようにしてあり、道行く人もウコッケイの「平田飼い」を珍しそうに見ています。(吉光 敬子)

親子で布ぞうり作り体験

高松 番町の徳成寺でオリジナル・リサイクル布ぞうり作りがあり、親子連れら50人が参加しました。

まず、市環境プラザの職員を講師に台所でのため洗いや雨水、風呂の残り湯での節水などリサイクルについて学んだ後、さっそく古布を再利用して布ぞうり作りに取り組みました。

ビニールロープを足の左右の親指にかけ、両方のロープが交差するよ

うに手で引っ張り布を編んでいくなど初めての体験に全員、真剣な面持ち。完成品の意外と脱げにくく、フカフカと肌に優しい履き心地にすっかり満足していました。

(山下 利子)



男性15人、料理に腕ふるう

普通寺 中央公民館料理室で中央地区男性料理講習会があり、60から80歳代の15人が参加、腕をふるい合いました。

中央地区食生活改善推進協議会(河本嘉代子会長)の有志(ヘルプサポーター)10人が協力。参加者は全く料理をしたことのない人、常日ごろから楽しんでいる人などさまざまです。

「とり肉と野菜たっぷりの具だくさん汁」「白身魚のフライもどき」「サーモンなますと小松菜・ジャコ



の混ぜご飯」の3班に分かれて野菜の切り方、だしのとり方などの基礎を教わった後、エプロン姿もりりしくそれぞれの献立に取りかかり、昼前にはすっかりでき上がりました。

楽しく会食する参加者たちは「メタボリックシンドロームを予防、改善するためのヒントもある」「次回が楽しみ」と*台所体験、に大喜びでした。

(久利 和子)